

ハンドモア (LM4D) 簡易研磨 (ラッピング) 方法

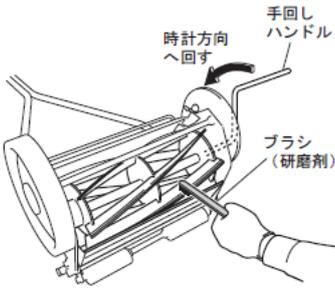
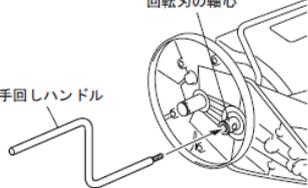
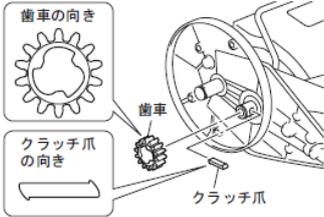
刃合わせをしても切れ味が悪い場合、刃の研ぎ直し (研磨) をします。



回転刃に手や指が触れるとケガをする恐れがあります。
必ず手袋を着用し、取扱いには十分注意してください。

<p>1</p>	<p>簡易研磨 (ラッピング) をするための以下のものを準備をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手回しハンドル ブラシ 研磨剤 短冊形に切った新聞紙 	<p>手回しハンドル ブラシ 研磨剤：小さじ1杯に対し、油：小さじ3～4杯を混ぜたもの 短冊形に切った新聞紙</p>
<p>2</p>	<p>ハンドルを握った状態で左側になる車輪を取外します。</p> <p>車輪のホイールカバーを取り、ダルマピンを外し、車輪を引っ張って取外してください。</p> <p>ダルマピンは、取付けの向きがあります。</p>	
<p>3</p>	<p>歯車とクラッチ爪を取外してください。</p> <p>歯車とクラッチ爪は取付けの向きが決まっています。</p>	
<p>4</p>	<p>本体全体を後方向へ静かに倒してください。</p>	
<p>5</p>	<p>左右のタイヤを持ち、タイヤが真上に位置するように本体部のみを起こしてください。</p>	
<p>6</p>	<p>ハンドル部にオモリ等を置いて、動かないようにしっかりと安定させてください。</p>	

7	<p>短冊形に切った新聞紙を 2 枚重ね合わせ、受け刃と回転刃の間に入れて、回転刃を手で回し、新聞紙を切って、各部の刃合わせ状態を確認してください。</p> <p>必ず左・中央・右部の 3 か所で確認してください。</p> <p>※ 刃物の調整（刃合わせ）方法参照</p>	
8	<p>新聞紙が切れる（切れ味がよい）場所にチョーク等で印をつけてください。</p> <p>刃が強く当たっているところを簡易研磨して、研ぎ落とします。</p>	
9	<p>回転刃が回転しないように、刃の間に木片等を入れ、手回しハンドルを回転刃の軸心へねじ込んで取付けてください。</p>	
10	<p>手回しハンドルを時計方向（回転刃を逆回転）に回しながら、研磨剤をチョークで印をつけた（新聞紙が切れる）場所にブラシで塗ってください。</p> <p>刃の全面がムラなくかみ合うようになる（目安は音が消える）まで続けてください。</p>	
11	<p>刃の全面がムラなくかみ合うようになったら、研磨剤をよく拭き取ってください。</p> <p>手回しハンドルの重みで回転刃が回転しますので、必要に応じて手回しハンドルを取外してください。</p>	
12	<p>短冊形に切った新聞紙を 2 枚重ね合わせ、受け刃と回転刃の間に入れて、回転刃を手で回し、新聞紙を切って、各部の刃合わせ状態を確認してください。</p> <p>必ず左・中央・右部の 3 か所で確認してください。</p> <p>※ 刃物の調整（刃合わせ）方法参照</p>	

13	<p>10～12 を繰り返し、回転刃の左・中央・右部の全部分で、新聞紙がきれいに切れるようになったら、手回しハンドルを時計方向（回転刃を逆回転）に回しながら、研磨剤を全面にブラシで塗ってください。</p> <p>仕上げの研磨です。</p>	
14	<p>刃の全面がムラなくかみ合うようになったら、回転刃が回転しないように、刃の間に木片等を入れ、手回しハンドルを取外し、研磨剤をよく拭き取り、水で洗い流してください。</p>	
15	<p>短冊形に切った新聞紙を 2 枚重ね合わせ、受け刃と回転刃の間に入れて、回転刃を手で回し、新聞紙を切って、各部の刃合わせ状態を確認してください。</p> <p>必ず左・中央・右部の 3 か所で確認してください。</p> <p>※ 刃物の調整（刃合わせ）方法参照</p>	
16	<p>歯車とクラッチ爪を組付けてください。</p> <p>歯車とクラッチ爪は取付けの向きが決まっています。</p>	
17	<p>車輪をはめ込み、ダルマピンを取付けて、ホイールカバーをはめ込んでください。</p> <p>ダルマピンは、取付けの向きがあります。</p>	